

平成24年度重点実施事業

かつてない厳しい状況におかれていた我が国経済にとって、政権交代で為替相場や株価の好転し、持ち直しの兆しが見え始めました。しかしながら地域において景気回復にはほど遠く、いまだ地域全体が疲弊しているのが現状であります。

このような厳しい局面からの脱却を図るため、商工会議所は地域経済に

おける総合的な経済団体として、地域経済の実態を把握し、地域の経済・雇用対策を喫緊の課題として捉え、国や政府に対し強く訴えてまいりました。また全会員の総力を結集し、「元気で活力あふれる賑わいのある敦賀」づくりに向け、積極果敢に実効ある事業活動を展開しました。

01

原子力政策の推進および立地地域の経済や雇用対策についての要望活動

原子力発電所の立地する商工会議所として、原子力を基軸としたエネルギー政策の推進を国等に強く訴えることが重要であることから、民主党政権が将来の原子力稼働ゼロを目標とする「革新的エネルギー・環境戦略」を決定したことに対し、平成24年9月7日に、有馬会頭をはじめ、敦賀市長、議長が、すみやかな再稼働の実施、3・4号機の建設着工、「もんじゅ」の研究継続、疲弊する立地地域の経済・雇用対策などを内容とする要望を、平野文部科学大臣はじめ、政府関係者に強く申し入れました。

また、自民党政権が誕生してからは、即座に（平成25年2月21日）、原子力発電所が立地する一市三町の首長、議長、経済団体が一体となって、菅官房長官、茂木経済産業大臣、細田自民党幹事長代行、丹羽文部科学省政務官や地元選出国会議員に対し、原子力発電所の再稼働や新增設などを、積極的に推進すべきとの提言活動を行いました。



2月21日 菅官房長官へエネルギー政策に対して要望書を提出

02

韓国・東海商工会議所経済交流団との経済交流活動

韓国・東海商工会議所との業務提携20周年記念事業として、両市の今後の更なる人的・経済交流発展の促進を目的に、東海商工会議所からの経済ミッション団を招いた、経済フォーラムを開催しました。

経済フォーラムでは、敦賀・東海両会議所の青年部・女性会の代表者が「FTAと港を活用した敦賀市・東海市の経済交流のあり方」をテーマに、パネルディスカッションを開催し、両市が有する港を中心として、今後も経済交流や人的交流を深めていくことを、再確認しました。



歓迎レセプションの様子

03

各部会・青年部・女性会の活発な行動による組織の活性化

それぞれの部会等が、先進地視察や、課題解決に向けての研修会・セミナーを開催したほか、新規分野進出につながる研究開発に積極的に取り組むなど、活発な活動を通じて、会議所組織の活性化を図りました。

また、平成24年7月21日には、恒例となった「氣比神宮の杜フェスタ2012」および「みたらし川イベント」を開催し、多彩なゲームなどを企画・運営して、子ども達を中心とした、賑わい創出を演出し、約20,000人の集客をみました。



7月21日 みたらし川イベント

04

嶺南地域産品の販路拡大と地域内の消費拡大

長引く原子力発電所の停止により、疲弊する嶺南地域の経済の底上げおよび、平成26年度の舞鶴若狭自動車道の敦賀までの全線開通を見据え、地元産品の展示販売会を開催（福井・敦賀・小浜で6回）し、特産品を県内外に広くPRし、販路の拡大を図りました。

また、地域内の消費拡大を図るため、1月19日から「つるがお買物キャンペーン」を展開し、賑わいの創出や商店街の活気づくりに努めました。



嶺南地域の産品展示販売会（福井市）